



どれも見ごたえのある劇でした **三文 高のステージの幕が開く**

9月29日(日)、『占冠中央小学校学芸会』が、占 冠中央小学校で開催されました。

1・2年生の『ともだちや』、3・4年生の『ようせいのめがね』、5・6年生の『CATS』の三つの劇と合唱『ふるさと』、合奏『名探偵コナンのテーマ』が披露されました。

当日はたくさんの方が来場され、子どもたちの個性 あふれる演技や元気いっぱいのダンスなどに温かな拍 手が送られていました。子どもたちの成長に思わず涙 される方も。



メ ^{豊かな森の恵みをつくる} ープルの森植樹祭

10月9日(水)、『メープルの森植樹祭』がニニウ地区で開催されました。植樹祭は、ニトリ北海道応援基金を活用しています。

植樹祭には、村民や林業関係者、中央小学校の児童 など約80名が参加し、イタヤカエデやニトリサクラ などを植えました。

村は、平成28年度からイタヤカエデの樹液を煮詰めることで完成する『メープルシロップ』で地域振興を行っています。





今 秋の味覚が大集合! 39 回紅葉まつりが開催

10月6日(日)、『第39回占冠村紅葉まつり』が開催され、来場者は秋の味覚を楽しみました。

今年の紅葉祭りでは、毎年好評のなめこ汁が提供されたほか生活協同組合コープさっぽろによるクイズなどが行われました。

野菜の重さ計りゲームでは、かぼちゃの重さを当て た方へ、熊ちゃん農園様の野菜詰め合わせセットが贈 られました。

来年も、たくさんのご来場をお待ちしております。



田子 実習で様々な技術の習得に励む 上了生動物保全技術実習を開講

9月8日から4日間、村と『地域総合交流協定』を 結ぶ酪農学園大学の学生と教員計13名が、双珠別の 双民館を拠点として『野生動物保全技術実習』を開講 しました。

この実習は、村の施設や村有林を実習フィールドとして活用し、村職員や農家、林業従事者などを講師として、野生動物管理、研究に携わる人材の育成をめざすものです。実習生は、この実習で昼夜にわたり様々な技術の習得に励みました。



かりですれる公園を んなでつくる公園を考える

10月5日(土)、『みんなでつくる公園』をテーマにトマム地区公園ワークショップが行われました。

ワークショップでは、今までの議論の振り返りや来 年度における整備の方向性等について確認がなされた ほか、参加者が直接現地を見ながら具体的な内容を検 討しました。

手作りしたブランコやハンモックは子どもたちに大 ございました。 好評であり、参加者は楽しい一日を過ごしました。



とグマの事故を減らすために グマ注意の看板を制作

トマム学校では、7月の『熊の教室』で、ヒグマの性質や地域の生息状況、住民としてのヒグマ対応などについて学習しました。

ました。 『熊の教室』で学習したことを踏まえて、地域におこの実習は、村の施設や村有林を実習フィールドと ける事故防止のためにどんな注意喚起が必要か、子ど、 で活用し、村職員や農家、林業従事者などを講師と もたち自身が考え、注意看板の図案を制作しました。

この看板は役場林業振興室が、上トマムの市街地周 辺などに設置しました。



地域貢献活動で清掃活動 マム学校をきれいに

9月12日 (木)、株式会社磯田組(磯田 洋一 代表取締役)の皆様が、地域貢献事業としてトマム学校の清掃活動を行いました。

学びの環境をきれいにすることで、子どもたちもま すます学びに集中することができるでしょう。

地域の環境整備にご協力いただき、誠にありがとうございました。

2019年11月号